

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」星が丘校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室の環境・体制整備	お子様の特性や活動内容に応じて机の配置を変えたり、仕切りを利用して空間を調整し、利用者様が安心して活動に取り組める環境作りをしております	今後もお子様たちの特性や発達段階を丁寧に観察し、柔軟に環境整備していけるよう努めて参ります
2	支援計画に沿った支援の提供 活動プログラムが固定されない工夫	職員間で情報を共有し、お子様の発達や背景を理解して分析した支援計画を作成、確認できるようにしております お子様一人一人の興味関心に合わせた教材を活動に組み入れ、活動内容に変化を付けております	今後も保護者様やお子様のニーズや課題を丁寧に聞き取り、ご要望に応じた支援を提供できるよう努めて参ります。 また、計画の見直しも状況に応じて適宜行い、子供の成長につながる支援を行って参ります
3	保護者様への共感的支援	支援後の振り返りの時間や定期的な面談で、支援の様子やご家庭、学校生活の様子についてもお伺いしております。保護者様の話を傾聴し、気持ちに寄り添った助言が行えるようにしております	今後も日頃の状況を伝えることで、ご家族と共通認識を持つようにして参ります

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の提供	主に個別支援を提供しているため、地域資源との関わりや繋がりが希薄でした	ご利用者様のご要望に応じて、地域の事業所等と少しずつ連携していけるよう努めて参ります
2	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会等の提供	外部の研修についてのお知らせは教室に掲示して情報提供しております。ご家族等も参加できる研修会の実施については、日程や会場の調整が難しく未実施となりました	年に数回行っている小集団療育やイベントに合わせ、ご家族等も参加できる研修等の企画を前向きに検討して参ります
3	非常時等の対応の周知	職員は社内での法定研修を必ず受けており、災害に対するマニュアルは策定されております。しかし、利用者様を含めた実動訓練は個別療育活動の中でスケジュール調整が困難でした	実動訓練は少人数であっても、実施できるよう調整して参ります マニュアルや防災に関する情報等は教室内に掲示するだけでなく、SNSや連絡ツールを使って周知できるように工夫して参ります

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」星が丘校					公表日	2025年 2月 15日		
			利用児童数	17		回収数	17		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	5	0	0	座る活動がメインだと思うので問題ない と思います トランポリンやマットのスペースはあり ます 運動の時もう少しスペースがあった方が 動きやすそうです もう少し広いと嬉しい 部屋の広さが狭い	職員間で活動を相談しながら安全性に配 慮し、必要な空間を確保できるよう努め て参ります	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	0	入所した時より職員が増えたようです	今後も法令を遵守した職員配置をして参 ります	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	0	バリアフリーではない 視覚的に何をすれば良いかルーティン が決まっています混乱しない	今後も安全面に注意していけるように、 出来る限り構造化等を含めた環境作りを継 続して参ります	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		定期的に環境整備や換気、消毒作業等を行 い、安心して通える事業所作りをして参 ります	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	16	1	0	0	本人の特性を理解してくれていると思 います 私たちが気がつかなかった本人の特徴を 捉えてくださるのが、深い理解に繋がっ ています 毎回担当の先生が違っていても、きちん と共有されていると感じました	今後もお子様に対する理解を深め、特性 に応じた支援に向けての専門性を高めて 参ります	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17	0	0	0	皆様の対応が素晴らしいです たくさんの方に関わっていただき、こど もも満たされているように感じます	支援プログラムは2025年に公表予定と なっております	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	16	1	0	0	園訪問なども踏まえて作成してくれてい る いつも困り事や課題に応じてプログラム を組んでくださるのがありがたい	引き続き保護者様のお話を何ながらニ ーズや課題が反映された計画になるよう努 めて参ります	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	1		引き続き児童発達支援ガイドラインの支 援内容から、必要な項目を選択し、それ に沿って支援を提供して参ります	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0	計画の内容を詳しく知りたいとも思いま す フィードバックでも毎回丁寧に教えて頂 いているので助かります	計画に沿った支援を行い、有効な療育が 行われるよう努めて参ります ご質問、ご相談は随時承ります	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	17	0	0	0	多くの活動内容がある 一つ一つの時間も丁度良く感じる	お子様に応じて、支援の工夫、改善見直 しを行いながら、プログラムが固定化し ないように努めております	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	10	2	1	4		現在は実施できていませんが、今後、参 加できる交流があれば必要に応じて参加 いたします	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	1		契約時や更新時に説明を行い、事業所内 に書類を掲示しています 今後も丁寧な説明を行えるよう努めて参 ります	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	1		毎回の支援では実施できていませんが、 計画更新時に計画に則した支援内容を説 明させていただいております	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	12	2	0	3	集団での交流機会が設定されている	ペアレント・トレーニングは実施でき ていませんが、保護者様が参加できる研 修や講演会のお知らせは教室に掲示し、情 報共有の機会を設けております	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0	毎回本人の様子を話す機会がある 毎回フィードバックがあり、見直せるの がよい	引き続きフィードバック時等を有効に使 い、共通の理解と認識を共有出来るよ う、連携して参ります	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0	フィードバックの時間やLINEを通してアドバイスをくださるのが助かっています 面談の時は時間を作ってもらえて相談できる 毎回どうですか、と聞いてくださるので、心強い存在です	引き続き事業所内相談や支援後のフィードバックを大切に参ります
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	本人がプログラム通り進められなくても理由を聞いてくれたり、それを伝えられる事を褒めてくれます	引き続き保護者様が相談しやすい環境を整え、お伺いした情報を共有、支援に活かして参ります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	2	7	まだよくわかりません	保護者会の開催はまだ出来ていませんが、今後イベント等の開催を検討して参ります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	1	1		ご要望やご相談には、可能な限り、丁寧に適切に対応して参ります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	1	振替などLINEで対応してくれるので、振替しやすい	支援後のフィードバックや事業所内相談はLINE等で対応させていただいております
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	1	4		教室内の掲示物の提示やSNS等を使い、情報発信を行っております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		個人情報が含まれた書類等は鍵付き書庫のロッカーに保管し、慎重に取り扱っております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3	0	3		周知・説明が十分ではない点を改めて見直し、情報共有及び保護者様もご一緒に参加が出来るよう検討して参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	5	2	4		毎月避難訓練を実施しておりますが、今後ご利用者様も交えた訓練も実施して参ります
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2		毎月避難訓練を実施しておりますが、今後ご利用者様も交えた訓練も計画実施して参ります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	4	0	1	今までにそういった状況になった事がないのでわからない	今後も引き続き、適宜対応して参ります
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	2	0	0	気分がのらないと差がある	その日のお子様の体調や気持ちに寄り添い、対応していきながら、今後も安心して通い続けられる居心地の良い場所を目指して参ります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	0	先生によっても本人の様子が違う 毎回帰りたくなさそうです	今後もお子様が楽しみに来所される事業所となれるよう、活動プログラムや支援教材を工夫して参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	0	0	内容にはいつも満足していますが、もう少し時間が長いといいなあ、と思います 通うようになってから親もこどもに少し落ち着いて関われるようになりました	これからもきらりを楽しみに通って頂けるよう、より良い事業所作りを進めて参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」星が丘校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	パーティションで仕切り、適切なスペースを確保しております	児童の特性に合わせた個別療育ができる環境を整えて参ります
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	法令を遵守した職員配置をしております	今後も法令を遵守した職員配置をして参ります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	生活空間は工夫して構造化されております。事業所は2階にあるためバリアフリーでなく、階段に手すり無しですが、昇降が難しい場合は職員が付き添って対応しております	今後もそれぞれの児童の特性に配慮し、過ごしやすく、構造化された環境整備や情報伝達に努めて参ります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	定期的な清掃し、清潔を保てるようにしております	今後も安全に支援に取り組めるよう環境整備に努めて参ります
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	早めに来所された時や他の利用者が少ない時には適宜教室を利用できるように環境を整えております	利用者のニーズや要望に応えるよう努めて参ります
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々の話し合いを欠かさないようにしております	業務改善の為にどの職員も主体的にPDCAサイクルに参画できるようにしております
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表の結果をもとに会議を開き、保護者の意見を把握しました	今後も保護者の意向を踏まえて、業務改善に努めて参ります
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的な面談の機会を設け、職員の意見を把握できるようにしております	今後もどの職員も意見できる職場づくりに努め、受けた意見を業務改善に反映できるよう努めて参ります
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	第三者ではないが、上長巡回訪問で定期的に教室の視察、業務改善を行っております	第三者評価としては実施できていないが、事業所評価を業務改善につなげております
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	研修に参加出来なかった職員に対し、見逃し配信や、議事録、研修記録等で内容を共有できるようにしております	今後も定期的に開催される発達支援研究所からの研修を受け、資質向上に努めて参ります
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	支援計画に沿って、各指導員が適切に支援プログラムを作成しております	今後公表に向けて準備しております
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	児童の発達段階や得意・苦手、保護者や園生活における困りごとなどを把握するため、利用者とのコミュニケーションを大切にしております	職員間で情報共有を行い、計画書の作成を行っております アセスメントと保護者のニーズに合うよう十分に情報共有しながら計画の作成に努めて参ります
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	作成の際はモニタリング時に職員間で課題の整理を行い、作成後にサービス担当者会議で共通の理解をするようにしております	計画を作成する際には、毎回、サービス担当者会議を開催し、職員全体でこどもの課題や発達状況を共有理解できるよう努めています
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画が常に確認できるようになっております	ミーティングを行い職員全体で情報共有し、計画に沿った支援ができるようにしております
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	法人が定めたアセスメントシートを使用しております	今後もこどもの適応行動の状況をアセスメントして参ります
	16 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	「本人支援」「家族支援」「移行支援」は支援時の様子や保護者様との振り返りをもとに、支援計画の内容を具体的に設定しております	今後もガイドラインの内容理解を深め、ガイドラインに沿った支援計画を具体的に作成できるよう努めて参ります
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	会議やミーティングで意見を出し合っております	意見を集約してチームで活動プログラムを作成して参ります
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	複数の指導員で担当するため、定めた目標に向けて職員全員が様々なアプローチをおこなっています	今後も現在の様子や困り事、苦手、得意から支援内容を考え、活動が固定化しないように工夫して参ります

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者の要望があれば集団療育をおこなっております	年に数回、小集団療育を開催、提供して参ります
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	社内オンラインツールを活用して以前の支援内容を職員で確認できるようにしております	日々ミーティングを大切にしております。職員全体でその日の予定を確認し、支援内容を共有しております
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援記録を記入して指導員間での共有をしております	重要な事項はその日のうちに情報共有し、翌日のミーティングで振り返りをして参ります
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録は必ずとっており、改善点があれば話し合いの時間を設けています	記録した事を支援の検証・改善につなげられるよう、日々の業務にあたります
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月毎にモニタリングを行っています モニタリングやサービス担当者会議等で見直しの必要性を判断して参ります	今後も定期的にモニタリングを行って参ります
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	日々支援に入っている指導員も多く参加しております	児発管、またはそのこどもに主に関わった指導員が障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参加いたします
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	関係機関連携に積極的に参加しております	今後も関係機関との連携体制の整備に努めて参ります
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	幼稚園へ訪問するなどして、情報共有や相互理解に努めております	今後も利用者のご要望に応じて適宜対応実施して参ります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者のご要望に答えるようにしております	今後も利用者のご要望に応じて適宜対応実施して参ります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	児童発達支援センターより連絡があれば適宜対応させていただきます	今後は機会があれば、適宜対応するよう努めて参ります
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	個別支援のため、交流の機会はありません	今後はご要望があれば交流の機会を設けていくことを検討して参ります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回支援後のフィードバックで最近の様子等を伺い、共通理解を図っております	今後とも共通理解を深めて参ります
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	地域で行われる研修は、適宜教室内に掲示しております	今後ご利用者様のご要望に応じて、ペアレントトレーニングや研修の機会を提供できるよう検討して参ります	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に必ず説明しております	今後も丁寧な説明が出来るように努めて参ります	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	原案を作成し、保護者に説明、同意を得た上で本計画を作成しております	今後も意向の確認を行い、作成して参ります	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	実際の支援を観察していただき、支援内容の説明と同意を得られる環境を整えております	今後も計画と支援内容の理解を得られるよう努めて参ります	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	子育てサポート加算の導入もあり、支援後のフィードバックを中心に相談に応じられるよう努めております	今後きめ細やかな対応に努めて参ります	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	今年度は調整がつかず、未実施になりました	現在は実施していませんが、ご要望に応じて保護者会の開催を検討いたします
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	ご質問、ご相談には随時承っております	今後もこどもや保護者からの相談や申し入れについて迅速かつ適切に対応できるよう努めて参ります
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	利用日時のお知らせや欠席連絡、振替連絡等はLINEを活用し、連絡体制がつきやすいようにしております	HPやインスタグラムで事業所の情報を発信できる体制を整えて参ります
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の入ったファイルやPCは必ず鍵のかかるロッカーで保管しております	今後も個人情報の取り扱いには注意して参ります
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	イラスト付きの提示方法をするなどして、視覚的にわかりやすく工夫して情報伝達するよう努めております	今後も利用者の意見も聞きながら特性に配慮した情報伝達を工夫して参ります
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	今年度は調整がつかず、未実施になりました	現在は実施していませんが、ご要望に応じて開催を検討いたします
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	委員会を設置し、マニュアル毎に情報共有の機会が設けられており、職員間での訓練も実施しております	周知については不十分だったかもしれませんが、今後、事業所内での周知方法について検討して参ります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	災害用伝言ダイヤル（171）を実際に体験する訓練や研修を行っております	職員は業務継続計画の内容を熟知して事業所の運営にあたって参ります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2	契約時に基本情報の確認をしています。また、毎年フェイスシートを更新し、状況を確認するようにしています	今後も服薬などのこどもの状況を確認して参ります
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	6	事業所での食事提供はございません	今後も必要に応じて食物アレルギーへの対応をして参ります
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	職員全員で研修に参加しております	今後も職員は安全計画の内容を熟知して事業所の運営にあたって参ります
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	一次避難先だけでなく、その後の避難場所についても教室内に掲示しております	今後とも定期的に取り組み内容を周知して参ります
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	社内オンラインツールにて共有しており、いつでも確認できるようになっております	今後もヒヤリ・ハットの記録を欠かさないようにして参ります
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年1回以上虐待防止・人権擁護の研修をしております	今後も職員研修の機会を確保して参ります	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時の重要事項説明書で、身体拘束について保護者に説明しております	身体拘束の必要がある場合は、必ず個別支援計画に記載して参ります	